

# 江戸文化講座

## 江戸のファッションⅡ

太田記念美術館では、大人気の「江戸文化講座」を本年も開講します。この講座では、浮世絵にとどまらず、江戸時代全般へ視点を広げて、さまざまな分野の専門家から江戸文化について学びます。今年度の第1回は「江戸のファッションⅡ」。昨年好評を博した村田孝子先生の「江戸のファッション」が、装いも新たに再登場します。江戸のファッションをリードしたのは、遊女や歌舞伎役者たち。浮世絵に描かれたその化粧、髪型、衣装は時代の古さを感じさせません。今回は、京阪と江戸との化粧の違い、男性の髪型などのトピックを加え、衣装は模様の面白さ、奇抜さにも注目します。



### 5月7日 第一講「化粧 —江戸の女は薄化粧」

江戸時代の化粧を見てみると、時代によっても違いますが、江戸は薄化粧で京都は濃化粧ともいわれています。それは、江戸の女性は“いき”を身上としていたからでしょう。しかし、もとは化粧も髪型も衣装も、流行は京都から江戸にもたらされたといわれています。京都も薄化粧の時代があり、江戸にも濃化粧が行われた時代もあったようです。化粧が普及し多様化した江戸時代末期を中心に探ってみましょう。

### 5月14日 第二講「髪型 —男も女も髪は命」

江戸時代の女性の髪型は、時代によって髷、髷、鬢の形に特徴がありました。それは男性の髪型にもいえることで、女性のような華やかさはあまりありませんが、髷の形などにこだわり、いろいろ工夫していたようです。今回は、浮世絵に描かれた女性の髪型と、「洒落本」などに登場した男性の髪型も見てください。

### 5月21日 第三講「衣裳 —模様は無限に華やかに」

衣装に描かれた模様は、今見ても斬新で、当時の女性たちも楽しんで着ていたのでしょう。小紋や縞、花模様、物語、吉祥模様など、いまでは何の模様が分からないものが数多くあります。しかし、当時の女性たちはその模様を理解し、美しさを引き立てるのに大いに利用したことでしょう。江戸時代末期の浮世絵美人が着ていた衣装や持ち物など、どのような模様が流行していたのか、探ってみましょう。

### 講師 村田 孝子 (ポーラ文化研究所 研究員)

東京生まれ。青山学院大学文学部教育学科卒。ポーラ文化研究所研究員。主に日本と西洋の化粧・結髪史を調査し、セミナー講演、展覧会、著作などで発表。  
『眉の文化史』『モダン化粧史』『日本の化粧』共著(ポーラ文化研究所)  
『結うところ—日本髪的美しさとその型』編著(ポーラ文化研究所)  
『江戸時代館』『明治時代館』化粧部門担当 『江戸三〇〇年の女性美』青幻舎 執筆 『江戸文化の見方』角川学芸出版 共著

日程 2011年5月7日(土),14日(土),21日(土)  
時間 14:00~15:30  
受講料 5000円(3回/一括前納)※パスポート会員は3000円  
会場 太田記念美術館 地下視聴覚室  
定員 50名(先着順)

### 申込方法

下記申込書に必要事項をご記入の上、受講料を添えて、太田記念美術館までご持参ください。4月2日(土)より受付開始、定員になり次第締め切ります。※郵送では申込みできませんので、ご注意ください。

(きりとり)

太田記念美術館 江戸文化講座 申込書 平成23年 月 日  
「江戸のファッションⅡ」

氏名 (会員のみ記入) パスポート番号

住所

電話 職業 男・女

※美術館使用欄

受付日 月 日 受付番号

開館時間…10:30~17:30(入館は17:00まで)  
休館日… 毎週月曜日(祝日の場合は開館、翌火曜日休館)  
展示替え期間

アクセス… JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分  
地下鉄千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10

問合せ 03-5777-8600

http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/

浮世絵 太田記念美術館 UKIYO-E OTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

